

宿主—腸内細菌叢と 生体防御・免疫系

Host-intestinal microbiota
and host defense & immune system

大野 博司 先生

理化学研究所
統合生命医科学研究センター(IMS)
粘膜システム研究グループ
グループディレクター



日時：平成30年2月6日(火) 18:30～

場所：外来診療棟4階 A講義室

先端医学トピックスの講義としても開講します

大野博司先生は、腸管免疫系の要として働く腸管上皮サブセットであるM細胞の機能とその分化メカニズムの解明や腸内フローラが宿主との相互作用により、宿主にどのような影響を及ぼすかについて最先端の研究を展開し、国際的に注目を集めている第一線の研究者です。

腸管免疫系は今まさにホットな研究領域であり、是非ご参集ください。

参考文献

1. Immunity 46: 863-874, 2017; 2. J. Exp. Med. 163: 367-380, 2017;
3. Nature 504: 446-450, 2013; 4. Nat. Immunol. 13: 729-736, 2012;
5. Nature 469: 543-547, 2011; 6. Nature Cell Biol. 11: 1427-1432, 2009;
7. Nature 462: 226-230, 2009.

担当：細胞生理学分野 南 康博 (内線：5561)

主催：シグナル伝達医学研究展開センター

連絡先：研究支援課研究企画係

内線：5195 / Mail：k9shien@med.kobe-u.ac.jp